

学年	中学3年	教科	社会	科目	社会	単位数	5
教科書名	中学生の地理・中学生の歴史 中学生の公民 (帝国書院)			副教材名	中学校社会科地図 (帝国書院) 新中学問題集 (教育開発出版株式会社)		
コース・クラス	中高一貫						

## I. 目標

### 共通

1. レポート作成や課題学習、発表等を通じて、様々な資料を活用させ、社会的事象を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を育成する。

### 地理

1. 日本(東北、北海道)の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立つ地理的な見方や考え方の基礎を養う。
2. 地理的な基礎知識・概念・技能を確実に習得させる。

### 歴史

1. 歴史的な事柄に対する関心を高め、歴史に対する愛情と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 歴史的な基礎知識と我が国の歴史の大きな流れを確実に理解・習得させる。

### 公民

1. 現代の社会的事象に対する関心を高め、公正な判断力と自ら社会に関わろうとする姿勢を養う。
2. 民主主義や経済・諸問題に関する基礎知識を確実に習得させる。

## II. 授業のねらい

1. 教材やDVD・課題学習・校外学習・発表コンクールなどを通じて、社会に関する興味関心を持たせる。
2. 重要用語・人物などに関する反復学習を通じて、確実に基礎知識を身につけさせる。
3. 事前学習⇒校外授業⇒発表のサイクルで学習に取り組み、思考・判断・表現力を高めさせる。
4. セクションごとに問題演習の時間を設け、初見問題にも対応できる確かな学力を身につけさせる。

## III. 授業の進め方

1. 1学期で地理・歴史を終わらせ、2・3学期に公民分野を学習させる。
2. 教科書の記述だけではなく、資料集や問題集を有効的に活用して発展的な内容を取り入れる。
3. アクティブラーニングを実施し、授業内容の理解を深めさせる。(電子黒板やクラッシーノートの利用)
4. 小テストを学期ごとに複数回実施し、基礎的な知識を身につけると同時に、勉強の習慣を身につけさせる。

## IV. 学習上の留意点

1. 単発の記憶ではなく、いつ・誰が・どこで・何をして・どうなったかを関連付けて覚えること。
2. 板書の書き写しだけでなく、授業内の内容を細かくメモを取り、付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、自己管理すること。

## V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 地理 : 第2部 (第3章) 歴史 : 第4部 (第4章・第5章)、第5部 (第2章・第3章)
- 1学期 期末試験 : 歴史 : 第5部 (第4章・第5章・第6章)、第6部
- 2学期 中間試験 : 公民 : 第1部、第2部
- 2学期 期末試験 : 公民 : 第3部、第4部、第5部

## VI. 評価の方法

各学期の定期試験 ・小テスト、提出物、授業態度 ・課題学習の成果

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標			
一学期	4	<地理分野> 第2部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 6節 東北 7節 北海道	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●各地方区分にある地理的な基礎知識、特徴を理解する。 ●日本が抱える人口・資源・エネルギー・産業などの地理的な諸問題を、世界との比較の中で理解する。  ●幕末から明治への流れと他国との関係を理解する。 ●欧米の近代化と、アジアへの進出の関係性について理解する。 ●幕府が滅亡した背景、明治維新の歴史的な意義を理解する。 ●アジアに進出する帝国主義と、その中で日本の立ち位置について理解する。 ●2 国間の戦争ではなく、世界大戦が生じるようになった背景、それぞれの同盟の特徴を理解する。 ●第二次世界大戦の背景、戦況など、時代の流れを理解する。			
		<歴史分野> 第4部 武家政権の展開と世界の動き 第4章 天下泰平の世の中 第5章 社会の変化と幕府の対策					
	5	第5部 近代国家の歩みと国際社会 第1章 欧米諸国における「近代化」 第2章 開国と幕府の終わり 第3章 新しい価値観の下で 第4章 近代国家への歩み 第5章 帝国主義と日本					
		6			第6部 二度の世界大戦と日本 第1章 第一次世界大戦と民族独立の動き 第2章 高まるデモクラシーの意識 第3章 軍国主義と日本の行方 第4章 アジアと太平洋に広がる戦線		
					7		
	一二期	9			<公民分野> 第1部 私たちと現代社会 第1章 私たちの現代社会の特色 第2章 私たちの生活と文化	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●現代社会のとらえ方、考え方、公民的な学習の学び方を身につける。 ●日本国憲法の基本原理を理解する。 ●国会、内閣、裁判所それぞれの仕組みと、三権分立について理解する。 ●民主政治とその成立過程について理解する。民主政治と国民の政治参加、政治の基本原理について理解する。 ●アメリカや中国の政治システムと比較できるようにする。 ●経済の概念を総合的にとらえ、自らに関わることとして理解する。 ●経済の学習を通して、働くことの意義を考える。 ●政治と経済は連動していることを理解する。 ●国際政治(環境、平和、開発など)における日本の立場を理解する。 ●日本・世界が抱えている差し迫った諸問題について、自らが関係することとして考える。
					10		
11		第3部 私たちと経済活動 第1章 生活と経済について考えよう 第2章 消費者として経済を考えよう 第3章 企業を通して経済を考えよう 第4章 納税者として経済を考えよう					
		12	第4部 私たちと国際社会 第1章 世界平和の実現をめざして 第2章 環境問題について考えよう				
				第5部 より良い社会をめざして 第1章 持続可能な社会を考えよう			

※ シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により変更することもあります。